

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第7・8号

芳村修基教授追憶記念号

村上真完 武田宏道	大乘仏教の起原 ----- (1) 認識主体としてのブドガラ存在に関する批判 — 『俱舎論』破我品の所説を中心にして— ----- (33)
那須円照	Abhidharmadīpa (『アビダルマディーパ』) の 時間論<三世実有論>試訳 ----- (49)
岡本健資	<i>Divyāvadāna</i> 第26章所収ウパグブタの物語試訳 — 猿の瞑想・娼婦への教化・マールへの教化— ----- (102)
那須良彦	説一切有部における得と随得 ----- (137)
Kiyoyuki KOIKE (小池清廉)	Mental disorders from a Buddhist View, especially those within the <i>Nikāya</i> , the <i>Vinaya Pīṭaka</i> and the corresponding Chinese translations ----- (163)

2003 / 2004 年

インド哲学研究会



芳村修基博士遺影

執筆者紹介

村上真完（むらかみ しんかん）	東北大学名誉教授 文学博士
武田宏道（たけだ ひろみち）	元龍谷大学文学部教授
那須円照（なす えんしょう）	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員 文学博士
岡本健資（おかもと けんすけ）	龍谷大学文学部非常勤講師
那須良彦（なす よしひこ）	龍谷大学文学部非常勤講師
小池清廉（こいけ きよゆき）	京都府立洛南病院名誉院長 龍谷大学文学部非常勤講師

編集後記

インド学チベット学研究 7/8号で神子上の編集者としての責任は終了する。次の号から桂紹隆教授が編集者としての責任を引き受けて下さる。そこでこの第7/8号を恩師芳村修基教授への追憶号にすることにした。仏教学教室の仏教学研究は停年退職記念号以外の記念号を出さないことにしていたので、芳村教授の記念号は出されていない。東北大学と御縁が深かった芳村先生は他大学の研究者と幅広くおつきあいになっておられた。そこで、東北大学名誉教授の村上真完博士にご執筆をお願いした。村上先生に感謝の意を表したい。芳村教授の履歴と研究業績は芳村修基著『インド大乘仏教思想研究』百華苑刊(昭和四十九年三月)に掲載されているのでここには掲載しない。芳村先生は前のみを見て研究を進められた方で、後ろは見られなかった。龍谷大学のインド学チベット学の研究が未来へ向かって前進することを念じている。芳村先生もお浄土からわれわれを見守って下さっていると思う。(神子上記)

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は、実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号・冊数を編集者の桂紹隆までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてご案内いたします。費用は各号いずれも1310円(送料310円込)となっております。

＜バックナンバーのご案内＞

第1号（品切れ）神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の23章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教徒のジャイナ教批判(2)— 藤田祥道／『五百頌般若経』について—試訳（承前） 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論（上） 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(I)

第2号 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴経論』第一偈の一考察— 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの極微論(2)—極微が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(1)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の23章外界対象の考察—

第3号 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴経論』第13章「修行章」

—サンスクリットテキストと和訳— 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(III) 乗山悟／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭikā* 研究(1)(pp. 1-5)—

第4号 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭikā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子の理論 岡本健資／クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／アビダルマ研究ノート

第5・6号 神子上恵生／インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション 原田和宗／＜経量部の「単層の」識の流れ＞という概念への疑問(V) 岡本健資／クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(2)— 櫻井良彦／説一切有部における衆同分の分類 Kiyoyuki KOIKE (小池清廉)／*Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint—On Nikāya, Vinaya Piṭaka and the Chinese Canon—* Satoru NORIYAMA(乗山悟)／*On the Maṅgala verse of Hetubinduṭikā* Erich FRAUWALLNER (那須円照訳)／*Die Erlösungslehre des Hinayāna* (小乗の解脱論)

インド学チベット学研究 第7・8号

2004年11月発行

編集者 神子上恵生

発行者

インド哲学研究会
(代表者 神子上恵生)

Association for the Study of
Indian Philosophy

〒600-8128
京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
桂研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST
STUDIES RYUKOKU UNIVERSITY
SHICHIJO OMIYA KYOTO 600-8128
JAPAN

e-mail: skatsura@let.ryukoku.ac.jp

郵便振替 00900-6-309785

電話 (075) 343-3311 (大代表)

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

NO. 7·8, 2003 / 2004

Special Issue in the Memory of Professor Dr. Shuki Yoshimura

CONTENTS

- Shinkan MURAKAMI On the Origin of the Mahāyāna Buddhism(1)
- Hiromichi TAKEDA Pudgala as the Basis of Recognition
—Chiefly depending on the Ninth Chapter of
Abhidharmakośabhāṣya—.....(33)
- Ensho NASU A Study of the Theory of Time in *Abhidharmadīpa*
and *Vibhāṣāprabhāvṛtti*
—An annotated Japanese Translation of the Section on
‘The Existence of the Future, Present, and Past *dharma*s’— ..(49)
- Kensuke OKAMOTO Tales of Upagupta in 26th chapter of the *Divyāvadāna* ... (102)
- Yoshihiko NASU On *prāpti* and *anuprāpti* in Sarvāstivādin.....(137)
- Kiyoyuki KOIKE Mental disorders from a Buddhist View,
especially those within the *Nikāya*, the *Vinaya Pīṭaka*
and the corresponding Chinese translations.....(163)

Editor

E s h o M i k o g a m i

Association for the Study of Indian Philosophy
Kyoto, Japan